

原子力機構週報

Weekly Report (3/25~3/31)

近況

- 3月28日(火)、一般社団法人日本原子力学会原子力歴史構築賞を受賞しました。
受賞テーマ：「海外機関との協力による高速炉核設計・炉物理の基盤確立 —Mozart 計画 およびJupiter 計画—」
- 3月30日(木)、高速実験炉「常陽」原子炉施設の新規制基準への適合性確認のために、原子力規制委員会に対して原子炉設置変更許可及び保安規定変更認可の申請を行いました。
- 3月31日(金)、機構が保有する施設について、「施設の集約化・重点化」、「施設の安全確保」及び「バックエンド対策」の3つの観点より整合性のある総合的な計画として「施設中長期計画」を策定いたしました。(施設中長期計画案 を平成28年10月18日に公表済み)
詳細は、https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/facilities_plan/gaiyo.pdf (概要)
https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/facilities_plan/keikaku.pdf (全文)
- 3月31日(金)、機構の研究開発成果の最大化を図り、成果を広く国民・社会に還元するとともに、イノベーション創出につなげるための戦略として「イノベーション創出戦略」を策定いたしました。
詳細は、https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/innovation/gaiyo.pdf (概要)
https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/innovation/senryaku.pdf (全文)
- 3月31日(金)、機構が国際協力を推進していく指針として「国際戦略」を策定いたしました。
詳細は、https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/international_strategy/shiryo.pdf (概要)
https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/international_strategy/senryaku.pdf(全文)
- 東京電力福島第一原子力発電所事故に関して、様々な活動を行っております。当該活動の全般的な内容については、下記に掲載しております。
<http://fukushima.jaea.go.jp/>

各拠点のトピックス

- 「第31回東濃地科学センターセミナー」を開催いたしました。(東濃 3/26)
- 「第28回サイエンスカフェ(東海)」を開催いたしました。(東海 3/26)

研究開発拠点のその他の状況

別紙のとおり

【本件に関する問い合わせ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

広報部 報道課長

佐藤 仁昭

TEL 03 (3592) 2346

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド研究開発部門

人形峠環境技術センター 総務課長

小椋 幸男

TEL 0868(44)2211〔代表〕



原子力機構 HP: <http://www.jaea.go.jp>

メルマガ登録: http://www.jaea.go.jp/14/14_0.html

Twitter: https://twitter.com/jaea_japan

人形峠環境技術センター

- (1) ウラン濃縮原型プラント：滞留ウラン除去設備 運転 (H27/4/21～3/31)
- (2) 濃縮工学施設：パイロットプラント遠心機処理設備
遠心機処理設備運転 (H28/12/1～3/31)
- (3) 製錬転換施設：非破壊測定装置(アクティブ中性子測定型(機構名：JAWAS-N 装置))
によるドラム缶中のウラン量の非破壊測定 (1/5～3/26)

原子力科学研究所

- (1) 施設運転状況
 - ・ 研究炉(JRR-3)：施設定期検査中 (H22/11/20～)
 - ・ 研究炉(JRR-4)：施設定期検査中 (H22/12/27～)
 - ・ 原子炉安全性研究炉(NSRR)：施設定期検査中 (H26/12/1～)
 - ・ 過渡臨界実験装置(TRACY)：施設定期検査中 (H23/11/30～)
 - ・ 定常臨界実験装置(STACY)：施設定期検査中 (H23/11/30～)
 - ・ 軽水臨界実験装置(TCA)：施設定期検査中 (H23/1/11～)
 - ・ 高速炉臨界実験装置(FCA)：施設定期検査中 (H23/8/1～)

核燃料サイクル工学研究所

- (1) 再処理施設
 - ・ 施設定期検査中 (H19/7/30～)
 - ・ ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化処理中 (1/30～)
- (2) プルトニウム燃料開発施設
 - ・ MOX 燃料に関する研究開発等を実施中

J-PARCセンター

- (1) 大強度陽子加速器施設(J-PARC) 運転状況等
 - ・ 物質・生命科学実験施設(MLF)：利用運転 (1/13～)
 - ・ ニュートリノ実験施設：利用運転 (1/8～)
 - ・ ハドロン実験施設：点検保守 (H28/6/30～)
 - ・ 加速器施設：利用運転 (1/8～)

大洗研究開発センター

- (1) 原子炉施設
 - ・ 材料試験炉(JMTR)：第 35 回施設定期検査中 (H18/9/1～)
ホットラボ排気筒の高経年化に伴う取替工事中
 - ・ 高速実験炉「常陽」：第 15 回施設定期検査中 (H19/5/15～)
 - ・ 高温工学試験研究炉(HTTR)：第 5 回施設定期検査中 (H23/2/1～)
- (2) 照射後試験施設
 - ・ 燃料及び材料の研究開発のための照射後試験実施中

敦賀事業本部

- 1) 高速増殖原型炉もんじゅ
 - (1) 性能試験中 (H22/5/6～) (原子炉停止中)
- 2) 原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)
 - (1) 廃止措置作業中(使用済燃料搬出期間)
 - ・ 原子炉冷却系統施設(隔離冷却系設備等)の解体撤去工事 (H28/9/26～3/31)
 - ・ 重水系ヘリウム系等の汚染除去工事(カランドリアタンク及び重水冷却系、重水浄化系等のトリチウム除去等) (H21/1/26～)

播磨事務所

- (1) 大型放射光施設(SPring-8)：冬期点検調整期間 (H28/12/22～4/2 予定)
平成 29 年度第 1 サイクル運転 (4/3～4/28 予定)

幌延深地層研究センター

- (1) 幌延深地層研究計画地下施設(研究坑道)工事(500m 掘削予定)：(3/31 現在)
 - ・ 立坑掘削深度
東立坑：380.0m、換気立坑：380.0m、西立坑：365.0m
 - ・ 水平坑道掘削長
深度 140m 調査坑道：186.1m、深度 250m 調査坑道：190.6m、
深度 350m 調査坑道：757.1m
 - ・ 工事作業 他
坑内外設備の維持管理
坑内にて人工バリア性能確認試験等の研究開発を継続中
- (2) 幌延深地層研究センターからの排水
 - ・ 排水処理設備：処理済排水の放流を実施中 (H29/2 月の平均排水量：110 m³/日)

東濃地科学センター

- (1) 瑞浪超深地層研究所 研究坑道の掘削工事：(3/31 現在)
 - ・ 立坑掘削深度
主立坑：500.4m、換気立坑：500.2m
 - ・ 水平坑道掘削長
深度 300m 水平坑道：166.4m、深度 500m 水平坑道：426.8m
 - ・ 工事作業 他
坑内外設備の維持管理
主立坑：スカフォード整備、換気立坑：深度 200m～300m 配管撤去
- (2) 瑞浪超深地層研究所からの排水
 - ・ 排水処理設備：処理済排水の放流を実施中 (H29/2 月の平均排水量：776 m³/日)

青森研究開発センター

- (1) 加速器質量分析装置(AMS)による分析業務
 - ・ 環境試料中の放射性ヨウ素(I-129)試料を測定中 (3/7～)

福島県内各センター

- 1) 福島研究基盤創生センター
 - (1) 檜葉遠隔技術開発センター
 - ・ IRID による原子炉格納容器下部 実規模試験体を用いたベント管止水施行性確認試験実施中 (3/13～)
 - ・ 檜葉遠隔技術開発センターの施設利用申込みを随時受付中
<http://naraha.jaea.go.jp/use/flow.html>
 - (2) 大熊分析・研究センター
 - ・ 施設管理棟：建設中 (H 29 年度中に運用開始予定)
- 2) 廃炉国際共同研究センター
 - ・ 国際共同研究棟：3/15 竣工 (H29 年 4 月運用開始に向け準備中)
- 3) 福島環境安全センター
 - (1) 三春地区 (福島県環境創造センター研究棟内)
 - ・ 環境中のセシウム移行等の研究及び除染土壌の減容化技術等の研究開発を実施中
 - (2) 南相馬地区 (福島県環境創造センター環境放射線センター内)
 - ・ 遠隔による放射線モニタリング技術の研究開発を実施中